



スクラム

進路について考える

3年生は現在、私立高校の入試の結果が出て、卒業後の進路が決まった人もおり、まだ3月に公立高校の入試が残っている人もおり、というふうに一人ひとりが自分の目標に向かって頑張り、またお互いにそれを応援しあったりして、残りわずかとなった中学校生活を過ごしています。

みなさんも1年後同じような境遇となるわけですが、「**彼を知り、己を知れば、百戦殆うからず**」

(**孫氏**)という言葉にもあるように、まず「**入試とはどのようなものなのか?**」ということを知ろう(彼を知る)と、2月17日の「進路講話」で進路指導主事の村上先生にいろいろと教えていただきました。



私立高校入試

- ・「専願」と「併願」があり、専願は併願に比べて合格最低点が少し低くなっているが、合格すると必ず入学しなければならない。
- ・3教科で入試が行われる高校(女子校に多い)と5教科で入試が行われる高校(男子校・共学校に多い)がある。
- ・面接が実施される高校もある。

公立高校入試

- ・5教科で入試が行われる。
- ・当日の得点と「調査書」の評定(内申点)の合計点で判定される。
- ・各高校の「アドミッションポリシー」をよく読んで、「自己申告書」を作成する。
- ・「ボーダーゾーン」がある。(面接や自己申告書・調査書の「活動/行動の記録」が合否の判定に使われる)
- ・面接が実施される高校もある。
- ・合格すると必ず入学しなければならない。

以上のようなことがお話を内容でしたね。大阪にはたくさんの高校がありますので、**自分の将来や適性をしっかりと考えて**(己を知る)、自分に合った進路を獲得できるように努力を続けましょう。

ダンス週間(2/14~18)

体育の授業のダンス、今年度も「ダンススタジオ ドゥーアップ Do-up」から延べ5人の先生が来られて、YOASOBIの『群青』にのせたダンスを教えていただきました。楽しく前向きに取り組めていたようですね。



76期生 ちょっといい話

2/17の夕方、学校の電話が鳴りました。

「先ほどのことなんですが、神津小学校の通用門前で、おばあちゃんが転んで額を打ち流血して倒れているところを、たまたま見かけた北中2年の●●●●くんと●●●●くんが助けてました。

私、たまたま小学校に行く途中だったのですが、二人が携帯を持ってなくて大人を探してたところだったので救急車呼んで一緒に対応しました。

二人、一生懸命、側につく係と救急車を道で待つ係を分担して頑張ってました。

ちょっと名前とか聞かれて嫌やったかもですが、いいことなので中学校に連絡しようと思って名前聞きました。

おばあちゃんは、軽傷やったんですけど、寒い中、動けなくて座り込んでました。後は救急隊員が対応してくれます。

二人、めっちゃ不安そうな中、頑張ってたので、褒めてあげて下さい。」

ということでした。困っている人を見て、今、何をすべきか考えて行動できるのは素晴らしいですね！ 2人を誇りに思います😊

こんなふうに「ちょっといい話」がたくさんあるといいですね！